

平成31年度 昭和幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

はだしでジャンプ みんなのびのび アリンコ隊  
 ～みんな にこにこ やさしい いいことばあふれる園～

2. 本年度の合い言葉と目指す姿

<合い言葉> えがおのあいさつ ぼかぼかしょうわ

<目指す姿> いいことばを使って あーいいな(愛の)幼稚園

<大切にしている保育>

- ・前向きないいことばを使う ・裸足で元気に遊ぶ ・いっぱい歌う活動 ・笑顔のあいさつを広げる
- ・話が聞けることを大切にする ・ルールやマナーを守り仲良く遊ぶこと

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

1. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- (1) 園の雰囲気が良い。来園者に対しても自然に挨拶をしてくれとても気持ち良かった。
- (2) 先生方が明るく丁寧に子どもと向き合い、良く見てくれている。歌に力を入れているのが良い。園で習ってきた歌を家で楽しそうに歌っている。裸足保育もとても良い。
- (3) 季節に合った行事や園外保育が充実している。様々な経験が出来、子どもの楽しむ姿や満足感など味わうことができた。
- (4) 基本的な生活習慣を大切に、ルールやマナーを守れること。集団活動を通したコミュニケーション力を大切にしたい。
- (5) 幼小の連携を大切に、子どもや職員同士の交流を活発にし、同じ教育の観点で取り組みたい。

2. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 全般に高評価であったが、一人一授業公開など園内研修の更なる充実を図り、自己課題を見つめた保育、職員の保育力向上に努める。外部研修にも参加出来るよう勧めたい。
- (2) 明るい園づくりのために、保育者がプラス言葉の使い方を磨きたい。
- (3) 保護者とのコミュニケーションや園からの情報発信を大切に、内容を更に工夫したい。特に、園長だよりは子育てに参考になる内容を掲載していく。月1回の発行を目標にする。歌って遊ぼうも継続。
- (4) 園公開など魅力ある新しい企画を工夫し、園児募集が充実し信頼される園として発展させたい。